


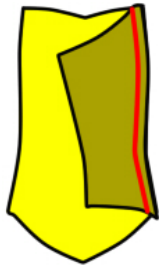
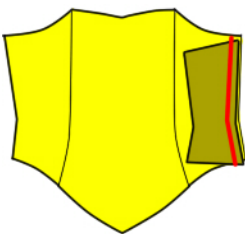
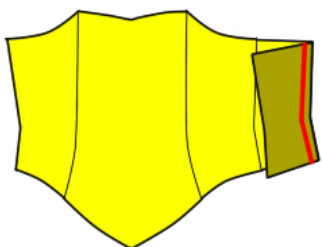
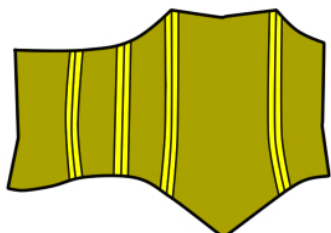
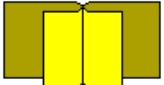
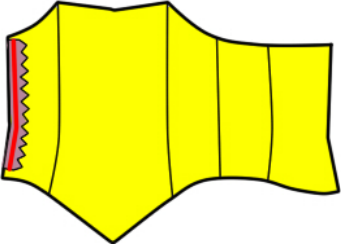
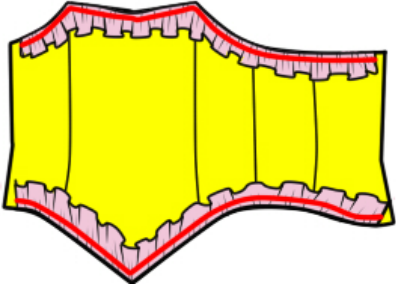
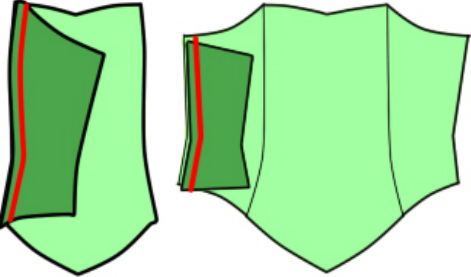
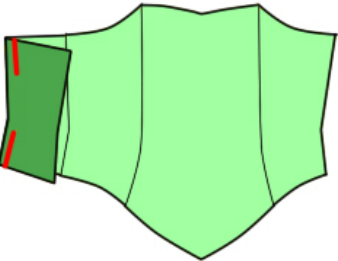
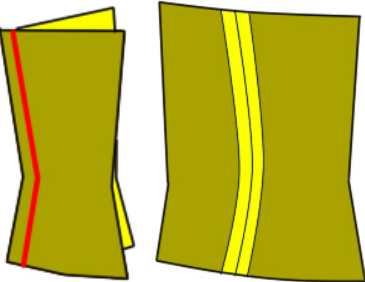
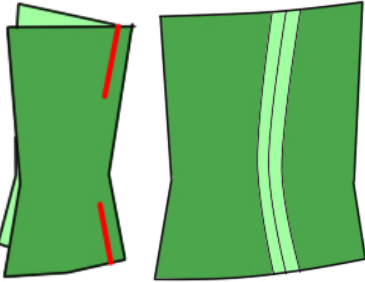
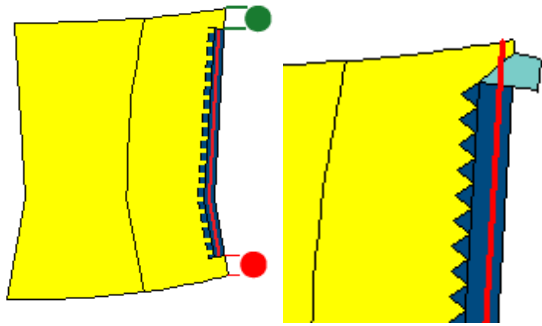
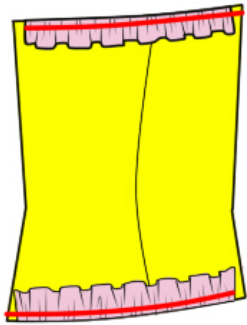
 <p>■が裏 ■表 ■は接着芯</p>	<p>切った全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。 型紙に指定された部分の裏に接着芯を付けてください。 くわしくは縫う前の下準備を参照</p>
	<p>フリルをつける場合。 アイロンで表が見えるように二つ折りにしてください。</p>
	<p>フリルにギャザーを寄せてください。 端から5mmくらいと、その1cm隣を2本縫ってください。 端を図のように山のほうに向かってギャザー縫いすると、角が 出来ずキレイに縫い付けられます</p>
	<p>下糸を引っ張ると、ギャザーが寄っていきます。 ギャザーのよせ方も縫う前の下準備に書いてあります</p>
	<p>前中心と前脇を表が内側になるように重ねてください。 前中心と前脇を縫ってください。</p>
	<p>前脇に後ろ脇を縫ってください。 反対側はファスナーを付けるので縫わないでください。</p>
	<p>後脇と後ろ中心を縫ってください。 反対側はファスナーを付けるので縫わないでください。</p>
	 <p>縫い代をアイロンで左右に折ってください。</p>

	<p>身頃の上にファスナーを裏を上にしてください。 上下1.5cmあけてファスナーを縫ってください。</p>
	<p>フリルを縫ってください。</p>
	<p>表と左右対称に裏地を縫ってください。</p>
	<p>後脇と後中心は10cm程度縫わないでください。 *表返す為の穴です</p>
	<p>右側の後身頃脇側と、後身頃中心側を重ねてください。 同様に裏地も縫ってください。 縫い代を左右に折ってください。</p>
	<p>裏地を左右対称に縫ってください。 表返す為に10cm縫わないでください。</p>

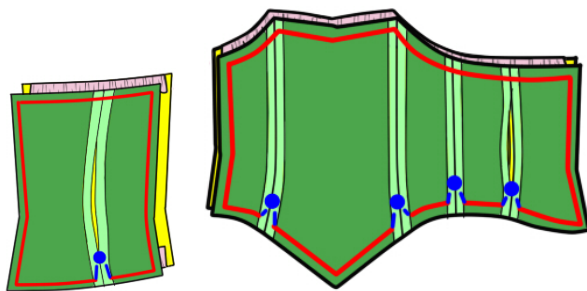


脇側にファスナーを、裏を上にして重ねてください。
ファスナーを縫ってください。

●●は1.5cm

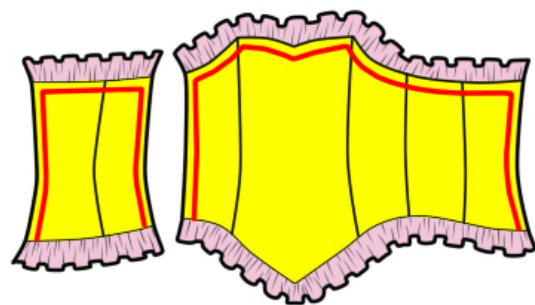


フリルを付けてください。



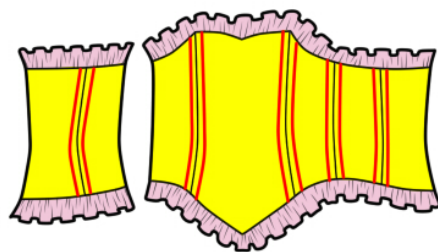
表地と裏地を縫ってください。

青い部分からボーンを入れるので縫わない。両端のフリルは縫いこまないように注意してください。



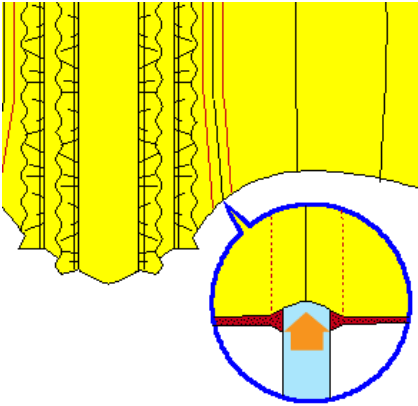
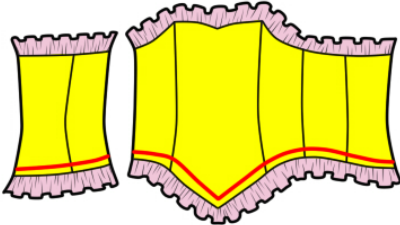
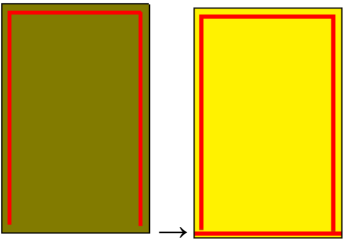
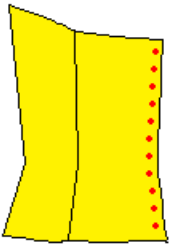
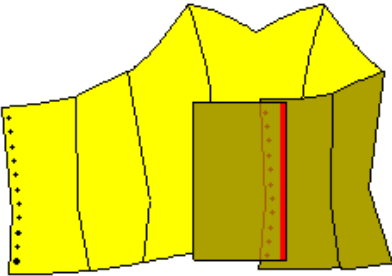
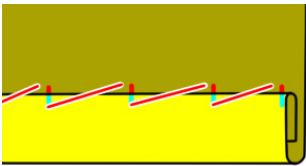
表側にひっくりかえしてください。

端から5mmの所を縫ってください。



表地と裏地がずれないようにピンで固定してください。

前中心の切り替えの縫い目の左右6~7mmのところを表地と裏地は重ねたまま縫ってください。

	<p>すその表地と裏地の隙間からボーンを入れてください。</p>
	<p>ボーンを入れたら、すそを端から5mmくらいのところを縫って閉じてください。</p>
	<p>後中心の持ち出しを縫ってください。 下の縫い代をアイロンで折ってください。 表側にひっくり返してください。 端から5mmの所を縫ってください。</p>
	<p>ハトメの穴を開けてください。 穴はポンチという穴あけの道具であけてください。</p>
	<p>ビスチェを体に当てて、後中心の持ち出しが丁度後の真ん中に来るようにあてて、位置を決めてください。 後中心の裏側にもちだしをまつり縫いしてください。</p>  <p>調節できるように片方だけ縫ってください。</p>
	<p>紐を通す。 脇にかぎホックをつけたら完成です。</p>

必要な材料

表生地、接着芯、ハトメ、ボーン、糸、お好みでレース

オススメの生地

ポリエステルツイル

化繊なので綿ツイルに比べて軽いです。

しわになりにくいです

張りがあります、パニエを下にはいて広げたい場合に向いていますが、張りがある分柔らかくドレープを出したい場合には向きません。

初心者にも扱いやすい生地です。

ポリエステルジャガード

布を織って(製造)立体的な模様を作っている生地です。

高級感があり見栄えがいいです。

ポリエステルサテン

シワになりにくく、軽く、光沢があります。

ポリエステルのものはご自宅の洗濯機で洗えるので便利です。

柔らかく張りのないものが多いので織物の接着芯を裏に貼ってください。

接着芯

生地の厚みに応じたものを選んでください。

厚地に薄地の芯を貼ると接着力が足りず、はがれやすくなったり

薄地に厚地用の芯を貼ると接着剤が染み出してシミになったりするので、気をつけてくださいね。

ビスチェに限り接着芯は織物の接着芯が適しているようです。

ニットだと柔らかすぎて張りが出にくく、紙(不織布)の芯だとしわが入りやすかったりするので織物が使いやすいと思います